

JMP Pro17 インストール手順(Mac 版) 2023.1.10

本書では JMP Pro17 を Mac にインストールする手順を説明しています。

※MacOS 13(Venture)以降で JMP をインストールする場合は JMP Pro17 以上のバージョンをお使い下さい。

【目次】

1. 注意事項P1
2. JMP Pro16 のインストール手順P1

1. 注意事項

- ・ JMP は毎年 3/31 にライセンスが無効となります。3/31 を超えて使用し続けるには、ライセンス更新のための操作が必要です。(更新手順は ICT 推進担当のページで公開しています)
- ・ 初めてインストールする際には、その年度のライセンスファイルが含まれていますので、ライセンス設定は不要です。
- ・ JMP Pro17 はそれ以前のバージョンがすでにインストールされていても別の領域にインストールされますので、古いバージョンに上書きはされません。古いバージョンが不要の場合は、手動でアンインストールして下さい。
- ・ 初回インストール時はその年度のライセンスファイルが自動的にインストールされますので、ライセンスの設定は不要です。

2. JMP Pro17 のインストール手順

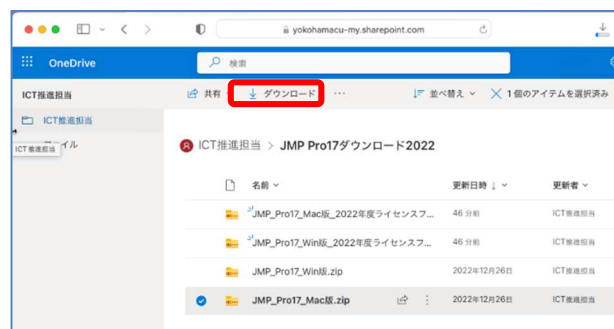
- ① 下記の URL より JMP の利用申請を行います。すでに申請済みの場合は、この手順は不要です。

<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~ictpromo/jmpapply>

- ② 利用申請後にメールで通知されるダウンロード URL を開きます。

- ③ いくつかの Zip ファイルが見えますので、「JMP Pro17 Mac 版.zip」のアイコンの前の部分をクリックして選択状態とし、メニューの「ダウンロード」をクリックします。「ダウンロード」が表示されていない場合は、「・・・」の部分をクリックすると表示されます。

※ここで、ファイル名をクリックするとフォルダーの内容が表示され、インストーラが起動できるように見えますが、その状態ではインストールはできませんので、必ず手順に沿ってファイルのダウンロードをしてください。



- ④ ダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了するまでしばらく待ちます。(数分かかります)。

完了すると、右図のように

「JMP_Pro17_Mac」というフォルダーがダウンロードフォルダーにできています。



- ⑤ フォルダ「JMP Pro 16 Mac 版」を開きます。

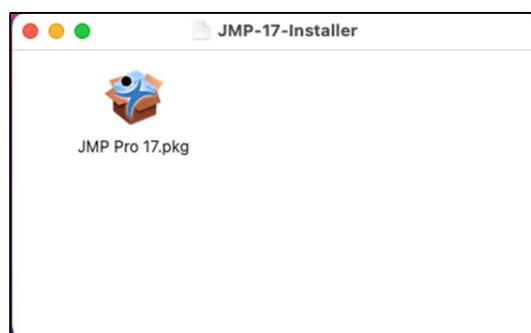
ここから、以下の順にフォルダを開きます。

JMP → JMP_Pro → 17_0 → Macintosh

「jmplpro_1700_mac.dmg」というファイルがありますので、それをダブルクリックします。

- ⑥ 右図のようなアイコンが表示されます。

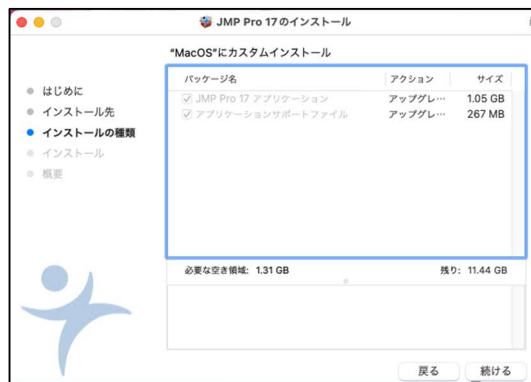
これをダブルクリックします。



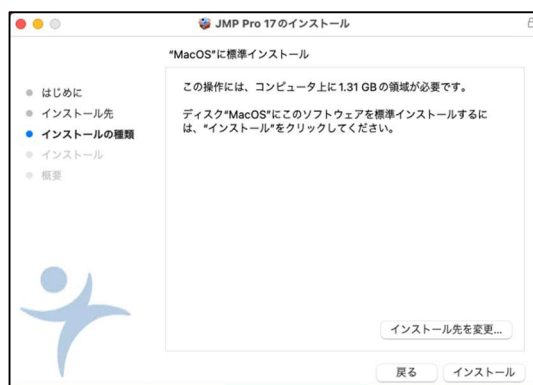
- ⑦ 右図のような表示となります。「続ける」をクリックします。



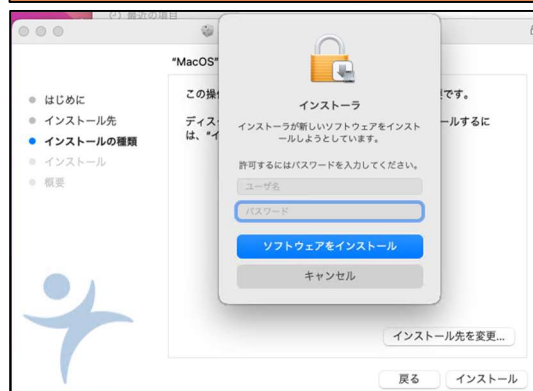
- ⑧ 右図のような表示となります。「続ける」をクリックします。



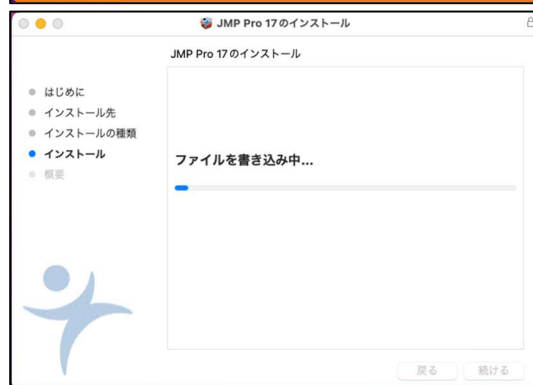
- ⑨ インストール先を指定します。
「インストール先を変更」をクリックすると、どこにインストールするかを指定することができます。変更しないもしくは、どこにしたらよいかわからない場合はそのまま「インストール」をクリックします。



- ⑩ ユーザー名とパスワードを入力し、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。



- ⑪ インストールが開始されます。



途中、右図のような警告が表示されますが、「OK」をクリックしてインストールを続けます。



- ⑫ しばらくすると「インストールが完了しました」の表示がされますので、「閉じる」ボタンをクリックしてウインドウを閉じます。



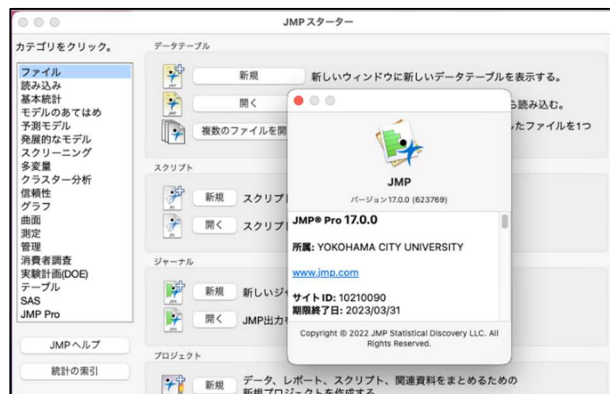
- ⑬ 「JMP Pro 17 のインストーラをゴミ箱に入れますか？」の表示が出ますので、不要であれば「ゴミ箱に入れる」をクリックして削除します。
以上でインストールは完了です。

- ⑭ 「アプリケーション」の中に JMP Pro17 のアイコンができています。JMP を起動します。



古い JMP がインストールされている場合、古いものもそのまま残っています。必要に応じて削除して下さい。

- ⑮ JMP を起動し、メニュー「JMP」から「JMP Pro についてを」実行すると右図のように「JMP@Pro 17」の表示がされることを確認します。



「期間終了日」がライセンスの有効期限です。有効期限が切れると JMP が起動しなくなりますので、

その際には新しいライセンスファイルを入手し読み込ませてください。手順については ICT 推進担当のページをご覧ください。